

～実践記録～

1. 学校名：根羽村立義務教育学校根羽学園

2. 対象：5・6年生 児童10名

3. 活動内容

(1) 活動名 「池の水全部抜く大作戦」

(2) 活動の目標

- ・中庭の池掃除や池周辺の環境整備活動に協働して取り組むことを通して、環境を良くしていくための活動の重要性を理解し、課題解決のための具体的な取り組みを考えるとともに、根羽学園への願いを大切にしながら行動したり生活したりできるようにする。

(3) ESDの視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input checked="" type="checkbox"/> 責任性（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連するSDGs

11 住み続けられるまちづくりを

15 陸の豊かさも守ろう



(5) 活動の内容

①中庭や池について深く知ろう

- ・中庭や池周辺を探索する。
- ・村役場から資料をお借りし、いつどんな経緯で池が作られたのか探る。
- ・わかったこと、気づいたことをまとめ、次の活動の見通しを持つ。

②池を綺麗にしよう

- ・藻をかき出し、ゴミを取り除く。 ・ポンプとバケツリレーで水抜きをする。
- ・池の底面・側面をデッキブラシで磨く。 ・綺麗な水を入れる。
- ・わかったこと、気づいたことをまとめ、次の活動の見通しを持つ。

③枝を切って景観を整えよう

- ・技術科の市場先生に枝の切り方を教わる。
- ・どこをどのように切るのか、またそこをなぜ切る必要があるのか、計画書にまとめる。
- ・計画書に沿って枝を切る。
- ・わかったこと、気づいたことをまとめ、次の活動の見通しを持つ。

④犬走りをつくろう

- ・枝を切って通れるようになった場所に石畳を敷き、通り道をつくる。



4. 活動の成果

児童たちは、「自分たちの活動で、学校の人たちを笑顔にしたい」「何かをつくるからにはたくさん使ってもらいたい」という願いのもと、『中庭を全校児童生徒が憩える場所にする』という目標を立て、活動を続けてきた。活動の中では、「学校を変えてる感じがする!」「こんなに大規模でワクワクする総合初めて!」という声も聞こえ、自分たちの力で学校をより良くしているという自己有用感や自己効力感を高めることができた。また常に目標を念頭に据えており、興味のある活動や自分がやってみみたい活動ばかりに流されず、「これは自分たちの目標達成につながるのかな」と立ち止まって考えることができた。その結果、多くの児童生徒が中庭を利用してくれるようになり、自分たちの願いの一端を実現させることができた。

【感想】

6年間で初めて池が透き通るところを見ました。意外にもヘドロや藻がたくさんあり、取るのに苦労しました。ピカピカのきれいな池になって、がんばったかいがあったなと思いました。

【感想】

1、2年生が見に来てくれて、「すごい!めっちゃきれい!」と言ってくれたのがとても嬉しかったです。少しは憩いの場になったと思います。みんなでかけ声をかけながらバケツリレーをしているときが一番楽しかったです。

5. 指導方法・体制の工夫

- ①根羽村役場の方 ②技術科の市場先生

～令和4年度総合的な学習の時間実践記録～

1. 学校名：根羽村立義務教育学校根羽学園

2. 対 象：9年生 生徒7名

3. 活動内容

(1) 活 動 名 「根羽杉のブランド化」

(2) 活動の目標

根羽杉を活用したものづくりや根羽杉を知ってもらうための活動を通して、木材に付加価値を付けて産業として自立できる林業にしていくことの必要性を理解し、自分たちにできる取り組みについて考えるとともに、未来の根羽村への願いを大切にしながら生活していくことができるようにする。

(3) ESD の視点、育成する資質・能力

①構成概念

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 多様性（多種多様な現象が起きていること） | <input type="checkbox"/> 公平性（一人ひとりを大切に） |
| <input checked="" type="checkbox"/> 相互性（関わりあっている） | <input type="checkbox"/> 連携性（互いに連携・協力すること） |
| <input type="checkbox"/> 有限性（限りがある） | <input type="checkbox"/> 責任制（責任を持って） |
| <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

②育成する資質・能力

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 他者と協力する力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 未来像を予測して計画を立てる力 | <input checked="" type="checkbox"/> つながりを尊重する態度 |
| <input type="checkbox"/> 多面的・総合的に考える力 | <input type="checkbox"/> 進んで参加する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションを行う力 | |

(4) 関連する SDG s

- 1 1 住み続けられるまちづくりを
- 1 5 陸の豊かさを守ろう



(5) 活動の内容

①根羽杉でつくろう

- ・森林組合からいただいた杉の端材を使ってものづくりをする。
- ・製作した箸置きや収納チェアにオリジナルロゴを印字する。

②根羽杉や根羽村を知ってもらおう

- ・箸置きを安城市のイベントで販売する。
- ・箸置きをキャンプ場や飲食店向けに販売する。
- ・自分たちの活動の様子を SNS で発信する。
- ・NHK 長野放送局の番組で根羽村を紹介する。
- ・高山中学校との交流で収納チェアを贈る。



4. 活動の成果

生徒たちは、根羽村の特産品である根羽杉に着目し、根羽杉を多くの人に知ってもらい経済価値を高めていくことで、村の発展につなげることができると考えた。根羽杉を利用した製作では、森林組合からいただいた端材を使って、自分たちでつくったロゴを入れた箸置きや収納チェアを作成することができた。製作の際には、大きさや椅子の高さなどの細部にまでこだわり、製品を使う人の立場になって考え議論しながら製作を進めることができた。そして、その製品を校外の様々な場所で販売したり使ってもらったりしたことや、活動の様子を SNS で発信してきたことによって、根羽杉を多くの人に知ってもらうことができたことと活動への充実感を感じることができた。

活動全体を通して、林業が盛んな根羽村を今後さらに発展させていくための手段の一つとしての根羽杉という素材について理解を深め、経済的な価値を高めていく方法について実践を通して学ぶことができた。

<p>感想①</p> <p>アンフォーレでの販売で、自分たちの作ったものを目の前で買ってもらうことができたのが、とても嬉しかったです。私は主に SNS の広報を担当してきました。たくさんの人に見ただけで嬉しかったし、自分たちが行ってきたことを記録の残せるのも良いと思いました。SNS では、伝えたいことを明確にして、もっと見てみたいと思えるような投稿を作ろうと頑張り、たくさんの人とつながることができました。</p>	<p>感想②</p> <p>何をするにしても大変だったけれど、みんなで協力して活動していくのは楽しかった。初めてやるのが多くて最初は迷ってばかりだったけれど、最後までやりきることができて良かった。活動を通して、私は、何かをする前に、何のためにやってその後どうするかを考えることの大切さを学んだ。資源を最大限に活用するにはどうするか考えることができた。何気ないことでもすごいアイデアになることを知った。</p>
<p>感想③</p> <p>自分の手で作ったものに価値がついて、その価値を買ってくれる人がいることを知ってとても嬉しく思った。また、森林組合の方にもご協力いただいて人とのつながりの大切さを感じた。</p>	<p>感想④</p> <p>箸置きなどの商品化を進めていく際に、使う人の立場で考えたことで視野の広い考えがもてた。そして、それをどう実現するか考えることができた。</p>

5. 指導方法・体制の工夫

- ①村内の地域素材（根羽杉） ②森林組合の方